

資料4-① キャリア教育関係資料

初等中等教育におけるキャリア教育について

背景

➤ 中教審「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（平成23年1月答申）を踏まえ、キャリア教育の理念が浸透してきている一方で、次のような課題が指摘されている。

- ・職場体験活動のみをもってキャリア教育を行ったものとしていないのではないか
- ・社会への接続を考慮せず、次の学校段階への進学のみを見据えた指導を行っているのではないか
- ・職業を通じて未来の社会を作り上げていくという視点に乏しく、特定の既存組織のこれまでの在り方を前提に指導が行われているのではないか
- ・将来の夢を描くことばかりに力点が置かれ、「働くこと」の現実や必要な資質・能力の育成につなげていく指導が軽視されていたりするのはないか

➡ 教育課程全体を通じて必要な資質・能力の育成を図っていく取組が重要

キャリア教育の充実

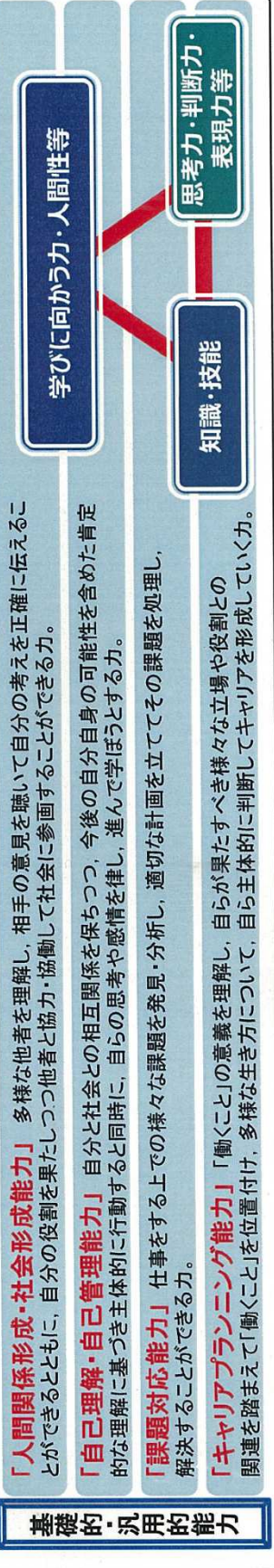
児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができよう、特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

「勤労観、職業観」のみを育てる教育ではない。
勤労観、職業観の育成に過度に焦点が絞られがちであるが、社会的・職業的自立のために必要な基盤となる能力の育成が、キャリア教育の中心的な課題。

職業教育は、一定又は特定の職業に従事するために必要な知識、技能、能力や態度を育成するもの。
職業教育は、キャリア教育と同義ではない。

基本的な方向性

- 小中学校では、特別活動の学級活動を要しつつ、総合的な学習の時間や学校行事、道徳科や各教科における学習、個別指導としてのカウンセリング等の機会を生かしつつ、学校の教育活動全体を通じて実施すること。
- 特に日常の教科等の学習指導においてキャリアの視点を大事にし、将来の生活や社会と関連付けながら見通しを持って、振り返ったりしながら学ぶ「主体的・対話的で深い学び」を実現すること。
- 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力である「基礎的・汎用的能力」を育成すること。
- キャリア教育を実践し、学校生活と社会生活や職業生活を結び、関連付け、将来の夢と学業を結びつけることにより、児童生徒の学習意欲を喚起すること。



学校における実践の具体的方向性

- 学校における体系的・系統的なキャリア教育実践の促進
- 職場体験活動や(アカデミック)インターンシップなどの職業に関する体験活動の充実
- 学校と地域・社会や産業界等が連携・協働した取組の促進
- 児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等(キャリア・パスポート(仮称))の活用

(出典) 文部科学省資料

キャリアパスポートについて

●「キャリア・パスポート」の目的
 小学校から高等学校を通じて、児童生徒にとっては、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐもの。
 教師にとっては、その記述をもとに対話的にかかわることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導に資するもの。

●「キャリア・パスポート」の定義
 「キャリア・パスポート」とは、児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのことである。
 なお、その記述や自己評価の指導にあたっては、教師が対話的に関わり、児童生徒一人一人の目標修正などの改善を支援し、個性を伸ばす指導へとつなげながら、学校、家庭及び地域における学びを自己のキャリア形成に生かそうとする態度を養うよう努めなければならない。

6年生 1年間を振り返りましょう

名前 各ページの記入項目は、一度に記入しても、項目ごとに分割して記入しても、どちらでも構いません。実態や取組に合わせて記入します。

○この1年間でなりたい自分にどれだけ近づけたか、振り返り

(学習面)	これまでの授業や学校行事の記録、キャリア・パスポートなどをもとに記入します。
(生活面)	
(家庭や地域)	

・「できた・できていない」の○か100だけではなく、できるようになるために行動した自分の努力や成長に気づかせること

この一年、どのくらいできたか、○をつけましょう。	よくできた	できた	少しできた	あまりできなかった
①友達や家の人の話を聞くと、その人の考えや気持ちを考えることができましたか。				
②自分の考えや気持ちを、相手にわかりやすく伝えようと気付けることができましたか。				
③委員会、クラブ活動、係活動、当番活動などで、自分から仕事や活動内容を見つけ、力を合わせて行動することができましたか。				
④好きでないことや苦手なことでも、自分から進んで取り組むことができましたか。				
⑤調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりできましたか。				
⑥何かをオスレキ 計画を立てて進めることができましたか				

資料4-② 特別支援学校におけるキャリア教育の実際

※ 県内特別支援学校の実践例

平成31年度キャリア教育全体計画 山梨県立〇〇学校

<p style="text-align: center;">本校の教育目標</p> <p>～子どもたちが、幸せな人生を送るために～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心身ともに健康な児童生徒を育成する。 ○個性や能力・特性を生かして、基礎的・基本的な確かな学力を育成する。 ○働く意欲や喜びをもち、社会の一員として共に生きる力を育成する。 ○多くの人たちとの交流を深め、豊かな人間性・社会性・道徳性を育成する。 ○子どもの人権を尊び、自己実現に向け、自己選択・自己決定する力を育成する。 	<p style="text-align: center;">生徒の実態</p> <p>素直で真面目に学習に取り組む児童・生徒が多い。近年、精神面で配慮を要する生徒や発達障害者、自閉的傾向の児童・生徒が増えている。</p>
<p style="text-align: center;">目指す児童生徒像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心身ともに健康な児童生徒 ○自分を理解し、他者を尊重する児童生徒 ○「やってみよう」という気持ちをもてる児童生徒 ○自分で選び、自分を調整する児童生徒 	<p style="text-align: center;">保護者、地域の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力を付ける。 ・自分のことは自分でできる。 ・仲間とかわったり、協力したりする。 ・社会生活に必要な力を身に付ける。 ・なんらかの支援を受けながらも自立する。

キャリア教育で目指す児童生徒像		
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・社会参加するために必要な知識・技能及び態度を身に付けて、精神的に自立しようと努力することができる。 ・個々の能力に応じて、自分の力を認識するとともに、適切な人生観・職業観等をもち、自分に合った将来の進路の実現に向けて、考えたり努力したりすることができる。 ・現場実習や進路に関する学習を積み重ねることにより、自ら進路の選択ができる。 	高等部
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会生活に必要な基本的な生活習慣や態度・技能を、身に付けることができる。 ・人とかかわりの中で自分の良い面や課題に気づき、自分を受け入れるとともに課題を克服する努力ができる。 ・自分の好きなことや得意なことを通して自信をもち、自己を表現することができる。 ・自分の進路を意識し、目的意識をもって意欲的に学習に取り組むことができる。 	中学部
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを持ち、自分で行う習慣を身に付けることができる。 ・相手からのかかわりを受け入れたり、自分から働きかけたりして、人とかかわることができる。 ・身振りや言葉などで、自分の意思を伝えようとする。 ・学校生活を元気に送れる体力を付けることができる。 	小学部

身に付けさせたい力(基礎的・汎用的能力を基本にして)					
	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力	
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・他者理解 ・コミュニケーションスキル ・他者への働きかけ ・チームワーク(協力・仲間と作り上げる喜び) ・権利と義務理解 ・リーダーシップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解 ・主体性 ・前向きに考える力 ・忍耐力(我慢) ・ストレスコントロール ・役割遂行 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集力 ・計画性 ・実行力 ・自己発見 ・自己改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶこと・働くことの意義理解 ・必要な情報の収集と活用 ・将来設計 ・選択決定 ・多様性理解 ・行動と改善 ・自己の能力・動機・価値観の統合 	高等部
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・他者意識 ・他者との協調 ・集団における役割理解 ・状況に応じた言葉遣いと振る舞い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解 ・自発性 ・意志決定 ・持続力 ・健康管理 ・持ち物管理 ・衛生的な習慣 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題理解 ・選択能力 ・状況把握 ・実行力 ・探索能力 ・道具や材料の活用と応用 ・創意工夫 ・自己表現力・目標を達成しようとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の仕組みやルールの理解 ・身近な人の職業理解(家族の職業、その他の職業) ・働くことへの興味・関心 ・将来の見通し ・余暇活動 	中学部
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に働きかける力 ・友達の良さへの気づき ・集団参加 ・意思表現の力 ・挨拶・適切な身だしなみの習慣化 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなものや好きなことを見つけた意欲 ・自分の良さへの気づき ・積極性 ・健康管理に必要な習慣形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの出来事への興味・関心 ・分からないことを調べようとする力 ・自分の仕事を最後までやり通す力 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事や働く人の様子などへの興味・関心 ・選択する力・時間や決まりを守ろうとする意識 ・自分のことは自分でしようとする意欲 ・生活や学習の目標を立てて実行する力 ・自分の役割の理解と実行 	小学部

キャリア教育・各学部の重点目標			
		<p style="text-align: center;">高等部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本的な生活習慣を身に付け、心身共に健康で精神的に自立するための力を育成する。 2) 基礎的な知識技能を習得し、自ら考え、判断し、表現できる確かな学力を育成する。 3) 働く喜びや尊厳を理解し、社会の一員として共に生きる力を育成する。 4) 豊かな人間関係を築くために、人とかかわる力や道徳性を育成する。 5) 社会の様々な情報や文化に関心をもち、自分から発信できる力を育成する。 	
		<p style="text-align: center;">中学部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自立に向けて基本的な生活習慣を身に付け、体力の増進を図り、心身共に健康で安全な生活を営むための力を付ける。 2) 基礎学力の向上を図り、様々な事柄へ興味を広げるとともに、自ら学ぶ気持ち及び積極的に取り組む態度を身に付ける。 3) 社会や環境を理解する力を高め、多くの経験を積み、働くことへの関心を育てる。 4) 集団活動を通して、豊かな人間関係を育み、道徳性及び共に生きる力を高める。 5) 情緒の安定を図り、情操を豊かにするとともに、自己表現する力を培う。 	
		<p style="text-align: center;">小学部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 日常生活に必要な基本的な習慣を身に付け、基礎体力を増進する。 2) 発達段階に応じた基礎学力の向上を目指す。 3) 日常生活の様々な活動に興味・関心をもち、生活経験を広げる。 4) 情緒の安定を図り、人とかかわる基礎をつくる。 5) 活動に見通しをもち、主体的に活動する力を身に付ける。 	

中心となる活動	
高等部	<ul style="list-style-type: none"> 職業(現場実習を含む)作業学習 特別活動(HR活動等)
中学部	<ul style="list-style-type: none"> 生活単元学習 作業学習 特別活動(学級活動等)
小学部	<ul style="list-style-type: none"> 生活単元学習 特別活動(学級活動等) 日常生活の指導
主な活動	
高等部	各教科、道徳、作業学習、特別活動、日常生活の指導、自立活動など
中学部	各教科、道徳、生活単元学習、作業学習、日常生活の指導、特別活動、自立活動など
小学部	各教科、道徳、生活単元学習、日常生活の指導、特別活動、遊びの指導、自立活動など

地域を学ぶ、山梨を学ぶ活動	
高等部	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流、現場実習、職場見学、校外学習 など
中学部	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流、校外学習 など
小学部	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流、校外学習 など
地域、家庭など外部との連携	
高等部	<ul style="list-style-type: none"> 交流及び共同学習、個別の教育支援計画作成、個別懇談、現場実習、職場見学、関係者会議 など
中学部	<ul style="list-style-type: none"> 交流及び共同学習、個別の教育支援計画作成、個別懇談、家庭訪問、関係者会議 など
小学部	<ul style="list-style-type: none"> 交流及び共同学習、個別の教育支援計画作成、個別懇談、家庭訪問、関係者会議 など

キャリア教育年間指導計画 高等部第2学年

学校名(山梨県立〇〇学校)

月	主な学校・学部行事等	生徒の主な活動(中心となる活動を左に、その次に中心となる活動を右に書くこと)				備考(評価等)	
		職業	時間	作業学習	特別活動(HR活動等)		
4月	○入学式(AB) ○始業式(AB) ○新入生歓迎会	○オリエンテーション 学習計画 ○自分について ・自分自身の事について考え、発表する。(自己紹介、自分の役割、自分の課題について)	2	○オリエンテーション ・作業学習の意義 ・作業学習の日課の確認 ・作業にあたっての注意事項 ・1年間の計画等	6 ○学年集会 ○学部集会(新入生歓迎会) ○自己紹介、学級目標、個人目標を考える	13	
5月		○社会生活① ・挨拶、返事、報告、身だしなみ ・基本的な生活習慣、交通ルール	2		16 ○学年目標作り ○仲間作りや、学年でできる取り組みについて考える	3	
6月	○第1期現場実習(ABCD) ○職業ガイダンス(ABCD)	○第1期現場実習事前学習 ・通勤や働くために必要な事柄を知る ・実習期間や実習場所の確認をする ・前回の実習の反省から、今回の実習の目標を考える ○第1期現場実習	62		8 ○学年集会(実習がんばろう会、実習報告会) ○仲間の実習先を知る ○現場実習のお礼状作り	3	
7月	○終業式(AB) ○個別懇談(ABCD)	○第1期現場実習事後学習 ・実習先、作業内容、実習の感想をまとめる ・現場実習先の評価、家の人の評価、教員の評価、自己評価 ・今後の課題 ・次の現場実習で働きたい場所、仕事内容	21	○作業活動 ・約束の確認 ・働く上で大切な言葉(報告連絡相談)の確認 ・作業工程、活動工程の確認 ・道具の名称・使い方の確認 ・製品づくり ・各種行事等のためのプレゼント商品準備	8 ○学年集会 ○1学期の振り返り ○夏休みの過ごし方	11	
8月	○始業式(AB)	○障害者職業能力検定について			0 ○学年集会 ○2学期の目標を考える	0	
9月	○林間学校(ABC)	○社会生活② ・年齢相応の社会常識(商店や公共機関の利用など) ○第2期現場実習事前学習 ・通勤や働くために必要な事柄を知る ・実習期間や実習場所の確認	2	○販売活動(〇〇祭) ・製品の仕上げ ・ラッピング、袋詰め ・販売準備(価格の決定、役割分担 など) ・接客の方法と態度 ・売上げの計算 ・反省会	12 ○林間学校事前学習事後学習 ○学年集会(実習がんばろう会) ○仲間の実習先を知る	7	
10月	○第2期現場実習(ABCD)	○第2期現場実習 ○第2期現場実習事後学習 ・実習先、作業内容、実習の感想をまとめる ・実習先の評価、家の人の評価、教員の評価、自己評価 ・自分のよかったところ、努力しなければならぬこと ・次の現場実習で働きたい場所、仕事内容	81	○校外学習 ・事前事後学習 *活動は縦割りグループ	8 ○学年集会(実習報告会) ○現場実習お礼状作り	2	
11月	○〇〇祭(AB)		0	・木工班 ・手工芸班 ・クラフト班 ・農園班 ・陶芸班 ・食品加工班 ・軽作業班(1G)	14 ○〇〇祭の取り組み ○〇〇祭ちらし配り、テーマ看板作り	2	
12月	○終業式(AB) ○個別懇談(ABCD) ○職業能力検定(ABCD)	○社会生活③ ・異性との関わり方 ・電話の応対、携帯のルール ○職業生活・様々な仕事について知る ・働くことと社会参加について	2		10 ○学年集会 ○2学期の振り返り ○冬休みの過ごし方	8	
1月	○始業式(AB) ○児童生徒会選挙(AB)	○健康管理について ・病院の受診の仕方 ・衛生的な生活	7		12 ○学年集会 ○3学期の目標を考える ○児童生徒会選挙に向けて	5	
2月	○児童生徒会総会(AB) ○3年生を送る会(AC) ○個別懇談(ABCD)	○余暇活動について ・余暇の過ごし方 ・ストレスマネジメント	2		12 ○3年生を送る会について(企画・運営) ○学部集会(3年生を送る会)	5	
3月	○卒業式(AB) ○修了式(AB)	○進路先について ○まとめ	1	○1年間のまとめ	5 ○1年間の振り返り ○学年集会	18	
			計182		計111	計77	370

記入上の注意(色つきの部分に記入して下さい)

- 箇条書き(丸数字の通し番号)で、指導・学習内容(例:インターンシップ、進路講演会、三者懇談など)と時間を、各分野毎に月別に記入して下さい。
- 各行事の目標を、基礎的・汎用的能力の(A)人間関係形成・社会形成能力、(B)自己理解・自己管理能力、(C)課題対応能力、(D)キャリアプランニング能力のいずれかに位置づけて下さい。(複数可)
- 各分野の行の高さは伸ばしてもかまいませんが、横幅は変えずに、セルの書式設定は「折り返して全体を表示する」にしてください。

資料4-③ 特別支援学校卒業後の状況

特別支援学校高等部卒業後の進路状況（H26～H30）

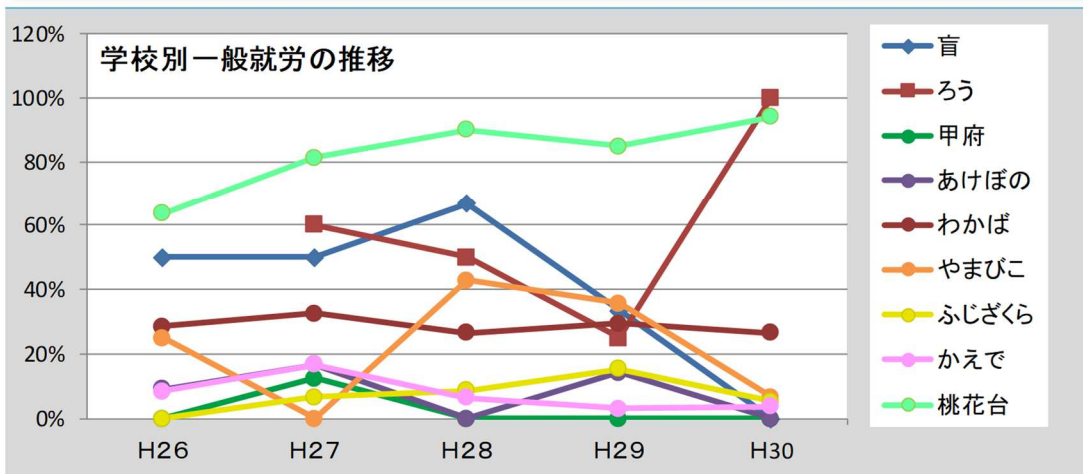
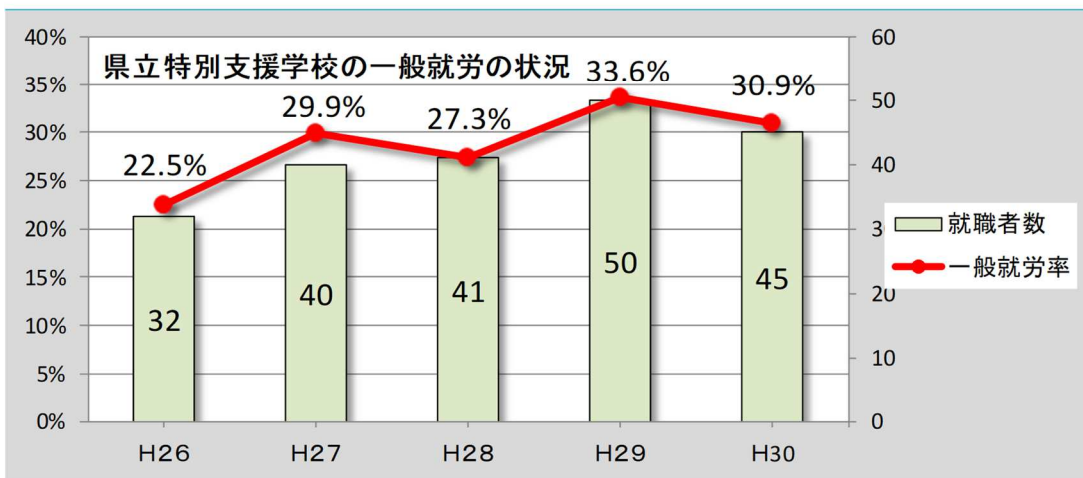
区 分			H26	H27	H28	H29	H30	
進学者	大学等			1		2		
	専攻科		1	1	1			
職業訓練機関等入学者	専修学校		1		1	1		
	各種学校							
	職業能力開発		1	1	3	1	1	
就職者			32	40	41	50	46	
施設等利用者	住まいの場		11	15	15	14	17	
	日中活動の場	介護給付	療育介護	2	4	5	2	5
			生活介護	35	30	40	35	30
		訓練等給付	自立訓練	8	4	5	5	7
			就労移行支援	43	37	34	31	40
			就労継続A型	8	5	10	5	2
			就労継続B型	8	10	5	12	15
	地域生活支援	地域活動支援センター	2	2	4	2	2	
その他			1	2	1	3	3	
合 計			153	152	165	163	168	

※「住まいの場」と「日中活動の場」または「日中活動の場」を複数併用している生徒がいるため、合計数は卒業生数よりも多い。

特別支援学校高等部卒業生の一般就労の状況（H26～H30）

	H26		H27		H28		H29		H30	
	卒業生数	就労者数	卒業生数	就労者数	卒業生数	就労者数	卒業生数	就労者数	卒業生数	就労者数
盲[専攻科]	4	2	2	1	3	2	3	2	0	0
盲[本科]	0	0	2	1	0	0	3	0	2	0
盲学校	4	2	4	2	3	2	6	2	2	0
ろう学校	0	0	5	3	2	1	4	1	2	2
甲府支援学校	8	0	8	1	9	0	5	0	7	0
あけぼの支援学校	11	1	6	1	6	0	7	1	9	0
わかば支援学校	56	16	46	15	49	13	34	10	34	9
やまびこ支援学校	16	4	10	0	7	3	14	5	15	1
ふじざくら支援学校	12	0	15	1	23	2	13	2	19	1
かえで支援学校	24	2	24	4	31	2	33	1	27	1
桃花台学園	11	7	16	13	20	18	33	28	34	32
合計	142	32	134	40	150	41	149	50	149	46
一般就労率	22.5%		29.9%		27.3%		33.6%		30.9%	

※桃花台学園のH26はかえで分教室



資料4-④ 障害者職業能力検定の状況

山梨県障害者職業能力検定について

山梨県では、障害者が職業に関する技術、技能に習熟するとともに、障害者の企業への円滑な就労や職業意識、職業能力の向上を促進するため、15歳以上の知的障害者を対象とした山梨県障害者職業能力検定を実施している。（主管は産業労働部産業人材育成課）

実施内容

種別	検定名	種目名	内 容	実施年度
基礎検定	接客サービス検定	喫茶サービス	主にコミュニケーション等の能力を評価 〈実施方法〉受検者が模擬的に設置した喫茶店において行うサービスを評価し、評価結果に基づき初級又は中級に認定する。	H27～
	事務アシスタント検定	文書発送作業	主に事務作業等の能力を評価 〈実施方法〉受検者が行う文書の発送作業を評価し、評価結果に基づき、初級、中級、上級に認定する。	H27～
専門職種検定	ビルクリーニング検定	清掃基本作業	清掃作業の能力を評価 〈実施方法〉受検者が行うタオル及び自在ぼうきを使用した清掃作業を評価し、評価結果に基づき初級、中級、上級に認定する。	H28～
		掃除機かけ作業 湿式モップがけ作業 ガラス拭き作業 床拭き作業	清掃作業の能力を評価 〈実施方法〉受検者が行う掃除機、湿式モップ、スクイージー、ポリッシャーなどを使用した清掃作業を評価し、評価結果に基づき初級、中級、上級に認定する。	H29～
	食品加工検定	食品基本作業	衛生面を含めた調理作業の能力を評価 〈実施方法〉受検者が行う食品加工の基本的な作業を評価し、評価結果に基づき初級、中級、上級に認定する。	H30～
	農業生産検定	※R2年度実施に向けて検討中		

種別	検定名	種目名	受検者の所属	平成30年度					
				申込者	受検者	初級認定	中級認定	上級認定	
基礎検定	接客サービス検定	喫茶サービス	特別支援学校	17	14	11	2		
			福祉事業所等	5	5	2	2		
			県立職業能力開発施設	0	0	0	0		
			合 計	22	19	13	4		
基礎検定	事務アシスタント検定	文書発送作業	特別支援学校	70	65	21	7	0	
			福祉事業所等	0	0	0	0	0	
			県立職業能力開発施設	7	4	1	0	0	
			合 計	77	69	22	7	0	
専門職種検定	ビルクリーニング検定	清掃基本作業	特別支援学校	28	26	8	4	10	
			福祉事業所等	4	4	1	3	0	
			県立職業能力開発施設	7	6	1	2	2	
			合 計	39	36	10	9	12	
	ビルクリーニング検定	掃除機かけ作業 湿式モップがけ作業 ガラス拭き作業 床拭き作業	特別支援学校	35	32	0	2	30	
			福祉事業所等	0	0	0	0	0	
			県立職業能力開発施設	0	0	0	0	0	
			合 計	35	32	0	2	30	
	専門職種検定	食品加工検定	食品基本作業	特別支援学校	13	13	0	9	2
				福祉事業所等	4	4	0	0	0
				県立職業能力開発施設	0	0	0	0	0
				合 計	17	17	0	9	2
専門職種検定	農業生産検定	検討中	桃花台学園	0	0	0	0	0	
			その他の特別支援学校	0	0	0	0	0	
			福祉事業所等	0	0	0	0	0	
			県立職業能力開発施設	0	0	0	0	0	
			合 計	0	0	0	0	0	

資料5-① 交流及び共同学習関係資料

交流及び共同学習の意義・目的

我が国は、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指しています。

幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校（以下「小・中学校等」という。）及び特別支援学校等が行う、障害のある子供と障害のない子供、あるいは地域の障害のある人とが触れ合い、共に活動する交流及び共同学習は、障害のある子供にとっても、障害のない子供にとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育むとともに、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となるなど、大きな意義を有するものです。また、このような交流及び共同学習は、学校卒業後においても、障害のある子供にとっては、様々な人々と共に助け合って生きていく力となり、積極的な社会参加につながるるとともに、障害のない子供にとっては、障害のある人に自然に言葉をかけて手助けをしたり、積極的に支援を行ったりする行動や、人々の多様な在り方を理解し、障害のある人と共に支え合う意識の醸成につながると考えます。

小・中学校等や特別支援学校の学習指導要領等においては、交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすることとされています。

＜小学校学習指導要領＞（平成29年3月告示）

第1章総則第5学校運営上の留意事項

2 家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携

教育課程の編成及び実施に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

イ他の小学校や、幼稚園、認定こども園、保育所、中学校、高等学校、特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすること。

※中学校、高等学校の学習指導要領にも同旨の記述あり。

＜特別支援学校小学部・中学部学習指導要領＞（平成29年4月告示）

第1章総則第6節学校運営上の留意事項

2 家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携

（2）他の特別支援学校や、幼稚園、認定こども園、保育所、小学校、中学校、高等学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のない幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすること。

特に、小学部の児童又は中学部の生徒の経験を広げて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むために、学校の教育活動全体を通じて、小学校の児童又は中学校の生徒などと交流及び共同学習を計画的、組織的に行うとともに、地域の人々などと活動を共にする機会を積極的に設けること。

交流及び共同学習は、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むことを目的とする交流の側面と、教科等のねらいの達成を目的とする共同学習の側面があり、この二つの側面を分かちがたいものとして捉え、推進していく必要があります。

交流及び共同学習の内容としては、例えば、特別支援学校と小・中学校等が、学校行事やクラブ活動、部活動、自然体験活動、ボランティア活動などを合同で行ったり、文通や作品の交換、コンピュータや情報通信ネットワークを活用してコミュニケーションを深めたりすることなどが考えられます。

これらの活動により、各学校全体の教育活動が活性化されるとともに、子供たちが幅広い体験を得、視野を広げることで、豊かな人間形成に資することが期待されます。

（出典）文部科学省資料抜粋

山梨県交流及び共同学習推進事業実施要項

山梨県教育委員会

1 目的

交流及び共同学習推進事業は、特別支援学校に在籍する幼児児童生徒の経験を広め、社会性を身に付けさせるとともに、交流する人々が障害者への理解を深めることを目的とする。

2 内容

(1) 学校間における交流及び共同学習（「学校間交流」）

特別支援学校と幼稚園、小・中学校、高等学校等の学校間において、幼児児童生徒相互の交流及び共同学習を実施する。

(2) 地域における交流活動（「地域交流」）

障害のある幼児児童生徒に対する地域社会の理解を深めるため、特別支援学校と地域の人々、関係団体等との交流活動を実施する。

(3) 居住地の学校等における交流及び共同学習（「居住地校交流」）

障害のない幼児児童生徒の障害への理解を深めるため、特別支援学校に在籍している幼児児童生徒が、当該居住地の幼稚園、小・中学校等において交流及び共同学習を実施する。

3 実施方法

(1) 山梨県交流及び共同学習研究協議会の設置

山梨県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、特別支援学校と幼稚園、小・中学校、高等学校等との交流及び共同学習の成果と課題について研究協議し、交流及び共同学習の円滑な推進等を図るため、山梨県交流及び共同学習研究協議会を設置する。

(2) 各校における交流及び共同学習推進協議会の設置

特別支援学校（富士見支援学校を除く。以下同じ。）は、交流及び共同学習を推進するため、交流提携校、地域の関係機関及び関係団体等からなる交流及び共同学習推進協議会を組織し、当該校における交流及び共同学習の実施計画、活動内容、評価等について協議する。

(3) 交流及び共同学習担当者連絡会の開催

教育委員会は、各特別支援学校の交流及び共同学習を適切に推進するため、各校の代表による交流及び共同学習担当者連絡会を開催する。

(4) 実施計画書及び報告書の提出

特別支援学校は、交流及び共同学習を教育課程に位置付けるとともに、年度当初に実施計画書を、年度末に報告書を作成し、教育委員会に提出する。

4 経費

教育委員会は、本事業に要する費用を予算の範囲内で負担する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。
平成24年4月1日 一部改正

資料5-② 特別支援学校における交流及び共同学習の実際

各特別支援学校における交流及び共同学習の交流先一覧（R1）

	No.	学校間交流提携校等名	地域交流団体名		居住地校交流実施校	
盲	1	認定こども園 甲府西幼稚園	甲府市池田地区自治会連合会			
	2	甲府市立池田小学校	甲府市池田地区社会福祉協議会			
	3	甲府市立西中学校	甲府市池田地区老人クラブ連合会			
	4	山梨県立甲府西高等学校	甲府市池田地区ボランティア推進会			
	5	山梨県立甲府城西高等学校	山梨ライトハウス青い鳥成人寮			
ろう	1	社会福祉法人加納岩福祉会 加納岩保育園	山梨市大野区	社会福祉法人ぶどうの里 山梨授産園	南アルプス市立豊小学校	富士川町立増穂小学校
	2	山梨市立山梨小学校	山梨市立養護老人ホーム「晴風園」	山梨陶磁会	山梨市立山梨小学校	甲斐市立竜王南小学校
	3	笛吹市立春日居中学校	手話サークル「ふえふき」		甲府市立里垣小学校	
	4	山梨県立山梨高等学校	JAフルーツ山梨 加納岩支所		忍野村立忍野小学校	
	5	学校法人身延山学園 身延山高等学校	社会福祉法人忠恕会山梨クリナース		北社市立長坂小学校	
甲府	1	甲府市立池田小学校	池田地区老人クラブ連合会		甲斐市立竜王南小学校	笛吹市立境川小学校
	2	甲府市立新田小学校	池田地区老人クラブ連合会女性部		山梨市立加納岩小学校	甲斐市立竜王東小学校
	3	甲斐市立敷島中学校	池田おやなぎ連		甲府市羽黒小学校	甲府市立西中学校
	4	山梨県立甲府城西高等学校	池田地区文化協会		甲府市立甲運小学校	甲府市立城南中学校
	5		新田地区文化協会		笛吹市立境川小学校	笛吹市立石和中学校
あけぼの	1	韮崎市立甘利小学校	韮崎市旭町上條南割地区		北社市立白州小学校	
	2	富士川町立増穂南小学校	韮崎市旭町上條南割地区老人会		北社市立長坂小学校	
	3	韮崎市立韮崎西中学校			南アルプス市立白根百田小学校	
	4	北社市立武川中学校			市川三郷町立六郷中学校	
	5	甲府市立甲府商業高等学校				
	6	学校法人日本航空高等学校				
	7	山梨県立韮崎工業高等学校				
わかば	1	南アルプス市立白根源小学校	白根源小学校PTA		韮崎市立韮崎北東小学校	昭和町立押原中学校
	2	南アルプス市立櫛形中学校	南アルプス市社会福祉協議会所属ボランティア団体		甲斐市立双葉東小学校	南アルプス市立櫛形中学校
	3	南アルプス市立白根御勅使中学校	南アルプス市有野区		南アルプス市立大明小学校	北社市立小淵沢中学校
	4	早川町立早川中学校	菊乃扇の会		昭和町立西条小学校	
	5	山梨県立農林高等学校	山梨県立白根高等学校奉仕部		甲斐市立双葉西小学校	
	6	山梨県立白根高等学校			中央市立三村小学校	
	7	山梨英和高等学校			中央市立田富小学校	
かわじ	1	富士川町立鎌沢小学校	鎌沢奉仕活動の会	中部区活性化プロジェクト	身延町立身延小学校	身延町立身延清稜小学校
	2	富士川町立鎌沢中学校	下部地区民生委員児童福祉部		富士川町立鎌沢小学校	富士川町立増穂小学校
やまびこ	1	大月市立猿橋小学校	宮谷老人クラブ	上野原市立図書館ボランティアタンポポ会	大月市立鳥沢小学校	
	2	大月市立猿橋中学校	下和田老健クラブ	山梨県立都留高校ボランティア同好会	上野原市立上野原小学校	
	3	山梨県立上野原高等学校	大月商店街協同組合		上野原市立上野原西小学校	
	4	山梨県立都留高等学校	大月市デイケアサービスセンターやまゆり		上野原市立上野原西中学校	
ふじざくら	1	鳴沢村立鳴沢小学校	童謡と唱歌の会	社会福祉法人 はまなし寮	富士吉田市立明見小学校	
	2	富士河口湖町立河口湖北中学校	このはなさくや	富士ふれあいセンター	鳴沢村立鳴沢小学校	
	3	山梨県立富士北稜高等学校	フラグス 若返り体操教室		鳴沢村立鳴沢小学校	
かえで	1	甲府市立里垣小学校	里垣地区社会福祉協議会	大正琴サークル「つみき会」	笛吹市立一宮西小学校	
	2	甲府市立東中学校	里垣地区食生活改善推進委員会	大正琴サークル「きさらぎ会」	笛吹市立一宮西小学校	
	3	山梨県立甲府東高等学校	中澤ぶどう園	東光寺自治会婦人部	山梨市立加納岩小学校	
	4	甲斐清和高等学校	松永ぶどう園	ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ	甲府市立石田小学校	
	5		ことぶき勤学院甲府教室	カイロセラピーもも		
桃花台	1	笛吹市立石和東小学校	笛吹市石和町中川区			
	2	山梨県立笛吹高等学校				
山梨大附属	1	山梨大学教育学部附属小学校	新紺屋地区老人クラブ連合会		甲府市立大國小学校	
	2	山梨大学教育学部附属中学校	特別養護老人ホーム 和久園			
	3	甲府市立北東中学校	養護老人ホーム 和告寮			
	4	学校法人日本航空学園 日本航空高等学校				

学校間交流:47校 地域交流:52団体 居住地校交流:47人(42校:小学校34校、中学校8校)